



左から澤ひろ美さん、澤美穂さん、小野ちひろさん



澤さん姉妹は、河南のご実家を改装し今年1月にカフェ&サロンをグランドオープンされた。

ボイス②
cafe and salon 三本葦
代表 澤 美穂さん

これから創業を目指す人へ

不安もあると思いますが、ひとりではありません！行政の支援など、頼れるところは頼って、まずは一步踏み出してみてください。チャレンジしたほうが絶対楽しいです！！

実家を活かして3姉妹で地域貢献したい

以前から3姉妹で「実家を活用して何かやりたいね」と話していく、昨年に創業を決意しました。最初は姉妹それぞれが得意なことを活かせる場所であればと考えていましたが、実際に創業に向けた準備を進め、地元の皆さんと関わっていくうちに、「生まれ育ったこの地域に貢献する場所にしたい」という思いが強くなっていました。

支援制度をフル活用

創業を決めてからは、市と商工会で開催されていた経営塾に参加したり、補助金を申請したりと、活用できる制度は全て利用しました。自分たちだけではわからないことも多かったので、このような支援制度があって本当に良かったと思います。

お客様と一緒につくる、心地よい「居場所」

カフェ&サロンという業態ですので、髪をカットした後にカフェでゆっくり過ごしていく方も多い、これからもお客様と一緒に心地の良い空間をつくりていけたらと考えています。地域の皆さんにとって大切な居場所として、また、今よりもっと良い空間を提供するため、私たちも成長を続けたいと思います。

創業への挑戦をサポートします！

①創業・新事業創出支援事業補助金

対象

事業を営んでいない人が新たに事業を開始する場合（創業後3年未満の人を含む）や、既に事業を営んでいる人が新たな分野の事業を開始する場合

補助金額（上限額）

自由テーマ型:80万円

行政テーマ型:100万円

※補助率1/2

※最大3年間にわたって交付可能
(1年度あたり50万円が上限)

▼詳しくはコチラ



②伴走型創業促進補助金

対象

市内で創業して3年以内で、商工会から継続して経営指導を受けている人

補助金額（上限額）

上限5万円

※創業費（設立登記費用など）、設備費（機械器具費など）、広告費（ウェブサイト作成費など）が対象



▼詳しくはコチラ



米原市で創業した人に聞きました！ 創業者の

リアルボイス

地域産業の維持・発展を図り、市民の就業機会や生活の利便性を確保するため、市では創業支援を積極的に進めています。

新しい事業者を育てることは、新たな産業を生み出し市内の事業者数を増やすことができるだけでなく、**米原は創業の夢に挑戦し希望が叶えられるまち**として、人を呼び込むことも期待できます。

今回は、市の創業支援制度を活用し、実際に市内で創業された方々の“ナマの声”（リアルボイス）をご紹介します！

問 市シティセールス課
☎ 53-5146 ☎ 53-5139



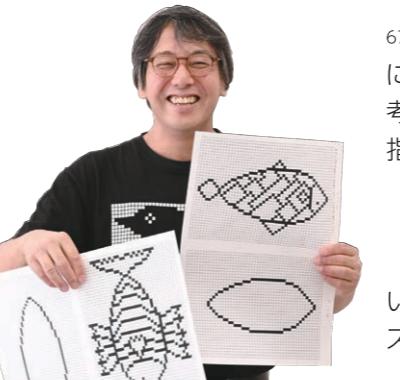
澤 美穂さん

平成23年に美容師免許を取得。美容師として勤務し、平成29年にフリーランスとなる。今回妹のちひろさんが食品衛生管理者資格を取得し、3姉妹で市内にお店をオープン。

これから創業を目指す人へ

失敗を恐れず、挑戦することが大切だと思います。行動すること自体に学びがあり、その学びは必ず次のステップにつながるはずです！

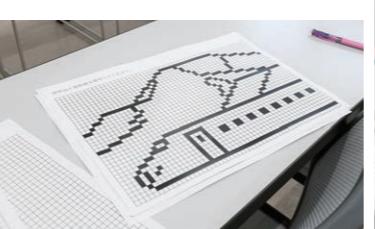
造形作家・美術史家（学術博士）
森 佳三さん



森 佳三さん

多摩美術大学卒業後、政府給費留学生としてイタリア留学。帰国後、千葉大学博士課程修了（学術博士）。自作集刊行のほか、国内外で多数の受賞歴がある。

マス目を塗りつぶして絵を描く「グリッド米原ドリル」。伊吹山など米原の風物がモチーフになっている。



生まれ育った地域のためにできることを

認知症の予防や改善を目的に、誰でも気軽に取り組める「グリッド脳トレ」（登録商標第6768749号、特許出願中）を開発しました。昨年から市内で高齢者向け講座の依頼を受けるようになり、「この教材を活用して、ふるさとである米原のためにもっと何かできないか」と考え、「グリッド脳トレ」に「米原のPR要素」をプラスした「グリッド米原ドリル」の出版を目指すことを決意しました。

支援制度の申請によって、多くの学びの機会を得た

私の場合は、すでに起業していたため、新規事業を始めるいわゆる「第二創業者」という人たちで市の支援を受けました。手続きや事業計画の立て方など様々なアドバイスをいただきました。申請したことでの多くの学びの機会を得たと感じています。

米原の魅力をPRしたい

今は、定期的に「グリッド脳トレ」の講習会を市内で開催していますが、その一方で、米原の魅力を表現した「グリッド米原ドリル」が少しでも米原に貢献できるように願いながら、このドリルの販売準備を進めています。